
4 サインは日本語で

パスポートのサインを、漢字で書くかローマ字にするか、迷うところだ。もちろん自分はふだん日本語を使っているわけだし、厳密に言えば、戸籍として届けられているのは漢字だから、それ以外は自分の名前ではない。堂々と漢字を使えばいいのである。最近は旅行会社の人も、漢字でサインするようにすすめてくれる。しかし、それは建て前で、実際にはさまざまなめんどろが生じてくる。

私は、海外では可能な限りクレジットカードを使う。何よりも危険をおかして現金を持ち歩かなくてすむし、24時間使用可能なATMがたくさんあるから、不便はない。いざという時のために、2種類のカードをもっており、一方は漢字のサインで、もう一方はローマ字にしている。これまで両方を使った経験では、ローマ字の場合は、何の問題もない。もちろん、スーパーで使うときには、外国人のカード悪用が絶えないせいか、やや入念にチェックされることが多い。いっぽう、漢字の場合には、反応はふたつに分かれる。ひとつは、笑って何か話しかけてくる場合である。私は漢字を知らないからよくわからなくてごめんなさい、といわれるケースはまれであるが、ないことはない。どういうサインかよくわからないけどいいですよ、というのがふつうの反応だ。いっぽう、いちばん困ったのは、こんなサインをされても本物か偽物かわからない、と言われたときだ。

サインというシステムを採用し、しかもクレジットカードが国際化している以上、世界中のありとあらゆる種類のサインが行われる可能性がある。クレジットカードを受け入れる以上、それは覚悟しなければならないことだ。しかし、実際に自分のまったく知らない文字のサインを見て、真贋を見分ける自信があるかといわれると、言葉を濁すことになるだろう。偽物だった場合には、店の売り上げにかかわるわけだから。

そういうわけで、最近ではローマ字のサインのものばかり使うようになってしまった。建て前より現実を選んでしまったのである。

似たようなことで、ローマ字で名前を書く場合に、姓を先にするか名を先にするかという問題がある。新聞紙上で論争がおこなわれたこともあり、最近で

は姓を先に書く人が増えてきた。かく言う私も、名刺には姓を先に書いている。ただし、姓の上にファミリーネーム、名の上にギブンネームと小さく但し書きをつけている。それでも間違いは起こる。

中古車を買って、手続きを店にまかせたら、書類に書かれた私の名前は、N. Izumi になっていた。それで登録されたわけだから、多少問題はあるが、めんどろなのでそのままにしている。名刺を渡したが、但し書きを見落とすたのだ。大学の図書館でも、貸し出しカードがいつまでたっても発行されないので調べてもらったら、同じことが起きていた。

いちばんまいったのは、空港の呼び出しである。妻子が遅れてイギリスに来たときに、ロンドンのヒースロー空港まで車で迎えに行つた。到着が遅れているというので何回もカウンターに聞いてみたが、どうなっているのかわからない。そのうちに、変な呼び出しがあつた。「Mr. Kioko, Mr. Kioko, カウンターへ」、というのだ。といつても、すぐにそれが自分のことを言っているとわかつたわけではない。何回かの呼び出しでようやくわかつたのだが、妻の名を姓とまちがっていたのだ。飛行機が、濃霧でガトウィック空港に到着したから、そちらに迎えに来いという、親切な空港係員の、早とちりであつた。しかし、こういう混乱が重大な利害にかかわってくることもあるかもしれない。そういうわけもあり、私のローマ字のサインは、依然として「Izumi Niuro」のままである。